

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス夢中			公表日		令和8年 2月 19日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			0
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	定員やお子さまの状態に応じた人員配置を行い、児発管・保育士・児童指導員・作業療法士等が連携して支援しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	学習・制作のスペースと運動スペースを分けるなど、分かりやすく安全に配慮した環境設定をしています。階段には手すりを設置し、 階段後に清掃時間を確保し 提供前後に清掃時間を確保し、常に清潔で過ごしやすい環境づくりを徹底しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて、集団から離れて落ち着ける場所で過ごせるよう環境を整えています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	運営・療育に関する会議を実施し、職員全体で改善に向けた意見交換を行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者からいただいたご意見を踏まえ、サービスの改善につなげています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	個別面談や会議・打合せで出た意見を取り入れ、業務改善を進めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		必要に応じて関係機関と連携を取りながら支援を行っていきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	4	法人内研修・外部研修の受講を通じて、療育知識や支援技術の向上に取り組んでいます。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	5領域との関連を分かりやすく示した支援プログラムを作成し、公開しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	お子さま・保護者のニーズや課題を丁寧に聞き取り、職員間で共有した上で支援計画を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管が作成した計画を基に、ケース会議で支援員と検討し、現状や特性に沿う内容になるよう調整しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援計画を作成後、職員間で内容を共有し、計画に基づいた支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	保護者と連携しながら日々の行動を観察し、状況把握に努めています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインの項目を踏まえつつ、お子さまの特性に合わせて支援内容をより具体的に設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	月ごとに支援員の意見を集約し、活動プログラムを検討・作成しています。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	担当職員を固定せずローテーションすることで、新しい発想が出やすい運用にしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	朝の打合せで当日の支援内容・ねらい・役割分担を確認し、チームで連携して支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	翌朝の打合せで前日の支援を振り返り、活動の進め方やお子さまの様子を共有・フィードバックしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援計画を参照しながら日々の記録を積み重ね、経過確認と改善に活用しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援計画を参照しながら日々の記録を積み重ね、経過確認と改善に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを実施し、必要性を判断したうえで適切な時期に計画を見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	管理者または児発管が、状況を把握したうえで担当者会議等に参加しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	必要に応じて関係機関と連携しながら支援を行っています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	契約時に書面を確認しながら読み合わせを行い、不明点は丁寧に補足説明するよう心掛けています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	6	保護者や関係機関の意向を踏まえ、連携を強めながら情報共有を進め、支援方針の相互理解を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	保護者や関係機関の意向を踏まえ、連携を強めながら情報共有を進め、支援方針の相互理解を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		現在は対象児童が在籍したケースがありません。今後は必要に応じて実施していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		現在は地域の児童発達支援センターからスーパーバイズや助言等を受ける機会はありません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		地域の中で交流できる施設があるかなど、様々な機関や施設とのつながりを作っていくよう努めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		必要に応じて関係機関と連携を取りながら支援を行っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳でのやり取りや、送迎時のフィードバックでお子さまの様子や課題について共有を行っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		保護者様との交流の機会を設けていきます。状況に応じて電話やLINEを用いたご相談を受けています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に書面に記載された内容を確認しながら、読み合わせでお伝えをしています。分からない部分についても丁寧に説明するよう心掛けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	個別支援計画はお子さまや保護者様の意向を確認の上、支援の優先事項を反映したのとなっています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	2	個別支援計画本案の作成後は保護者様に計画書をご覧いただきながら、具体的な支援内容等のご説明をした上で同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	子育ての悩みや相談については適宜、対応をさせていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	3		地域に開かれた機会づくりについて、実施形態やリスク管理も含め検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	お子さまや保護者様からのリクエストがあった際は速やかに検討し、可能な限りで対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	月ごとに活動や行事予定をお知らせしています。また活動の様子も週ごとにSNSで発信する等、情報の共有に努めています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2	個人情報に関わる書類は鍵付きの書庫で管理をする等、取り扱いについては十分留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	3	保護者様へは書面でのお伝えと送迎時に直接お伝えができるように対応をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		子育てについての情報・意見交換に役立つ良い機会となるため、今後の開催を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	各種マニュアルを策定し、職員による訓練を行っています。ご家族への周知は不足しているため、継続して行っていきます。緊急時対応マニュアルを作成をしてお渡しをさせていただいています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	業務継続計画（BCP）を策定し、毎月災害を想定した訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	服薬の有無や身体症状についてはアセスメント時に確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食物、その他アレルギーについてはアセスメント時に確認をしています。また医師の指示書があればご提出をいただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	安全計画を作成し、計画に沿った取り組みを行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	安全計画に基づく取組内容について、ご家族への周知は不足しているため、継続して行っていきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	データと紙媒体での管理をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3	身体拘束・虐待防止委員会を設置し、委員会内で研修を行う等、虐待防止に向けた取り組みを行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	身体拘束については契約時にご説明をした上で同意をいただいています。個別支援計画への反映をしています。		